

「感染者ゼロ」 北など18か国

【モスクワ＝工藤武人、ヨハネスブルク＝深沢亮爾】新型コロナウイルスの感染が世界で拡大する中、感染者を確認していないとする国がある。独裁国家や内戦下の国、アフリカの小国などを除き、情報を疑問視する向きがあるほか、ひとたび感染が及べば封じ込めが難しいとの懸念も出ている。

疑問の声も……

世界保健機関（WHO）の8日の発表では、感染者を未確認

- 「感染者0人」の国（8日時点）
- ▽アジア……北朝鮮、タジキスタン、トルクメニスタン
 - ▽中東……イエメン
 - ▽アフリカ……コモロ、レソト
 - ▽オセアニア……キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、ツバル、トンガ、ナウル、ニウエ、バヌアツ、パラオ、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦
- ※WHOの発表に基づく

刊行物に新型コロナウイルスの記述はなく、国民が話題にすることも禁じていると指摘し、約590万人の「国民を危険にさらしている」と批判した。拘束例も伝えられている。

ただ、感染拡大が深刻なイランと国境を接し、感染者はいるとの懸念は絶えない。タス通信によると、ケルバンケルイ・ペルドイムハメドフ大統領は9日、国民の健康調査を命じた。イエメンでも、感染者は公式に確認されていない。



イエメンの首都サヌアで、新型コロナウイルスの感染拡大に備え、啓発講座に参加するボランティア（3月28日、ロイター）

人口約210万人のレソトも「感染者ゼロ」が続く。約34万人がエイズウイルス（HIV）に感染するなど深刻な状況にある中、新たなウイルス流入を食い止めようと、政府が3月下旬に全土での外出禁止令を出したことが奏功している模様だ。ただ、国土は感染者が増加する南アフリカに囲まれており、アフリカ連合傘下の保健当局者は、レソトでの感染確認は「時間の問題だ」との認識を示す。

トルクメン 独裁 マスク着用禁止
イエメン 内戦 医療機関が半減

とする国は、北朝鮮や中央アジアのトルクメニスタン、内戦が長期化するイエメン、アフリカ南部レソトなど18か国ある。徹底した大統領崇拜と閉鎖性の強さから「中央アジアの北朝鮮」とも呼ばれるトルクメニスタンでは、新型コロナウイルスという言葉の使用やマスクの着用も禁じられている。

国際ジャーナリスト団体「国境なき記者団」は3月末、政府

コロナ、アフリカで急拡大

低い医療水準懸念 感染1万人超、まん延の恐れも

アフリカ大陸でも新型コロナウイルスの感染が急拡大してきた。感染者数の合計は4月上旬に1万人を越えた。大半の国は医療水準が低く、治療に必要な材料も不足している。アフリカで感染がまん延すれば、北半球を他地域に再び持ち込まれて感染の「第2波」をもたす可能性もある。

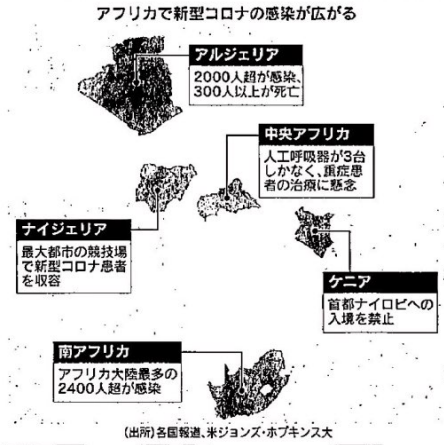
米ジョンズ・ホプキンス大の都市科学センターは、アフリカ大陸の感染拡大を予測するモデルで、アフリカでは4月末から感染が加速し始める可能性がある。4月6日には1万人を越え、6日には10万人を越える可能性がある。アフリカ大陸の感染拡大は、専門家が懸念するのと同じペースで進む。アフリカ大陸の感染拡大は、専門家が懸念するのと同じペースで進む。アフリカ大陸の感染拡大は、専門家が懸念するのと同じペースで進む。



南アフリカで新型コロナウイルス検査の準備をする医療関係者(ロイター)

	1人あたり国民総所得	1人あたり医療費
英国	4万1770*	約3960*
中国	9460*	約400*
アフリカ	1517*	約80*
日本	4万1310*	約4230*

(出所)世界銀行、アフリカはサハラ砂漠以南の国の平均



アフリカ大陸でも新型コロナウイルスの感染が急拡大してきた。感染者数の合計は4月上旬に1万人を越えた。大半の国は医療水準が低く、治療に必要な材料も不足している。アフリカで感染がまん延すれば、北半球を他地域に再び持ち込まれて感染の「第2波」をもたす可能性もある。

支援に動いているが、新たに32億5000万円のコロナ給付金にらんだ額増しの色彩も帯びている。中国は近年、広域経済圏構想「一帯一路」などでアフリカでの影響力の拡大を目指している。旧宗主国のフランスなどもアフリカへの関心が強い。

アフリカ大陸でも新型コロナウイルスの感染が急拡大してきた。感染者数の合計は4月上旬に1万人を越えた。大半の国は医療水準が低く、治療に必要な材料も不足している。アフリカで感染がまん延すれば、北半球を他地域に再び持ち込まれて感染の「第2波」をもたす可能性もある。